

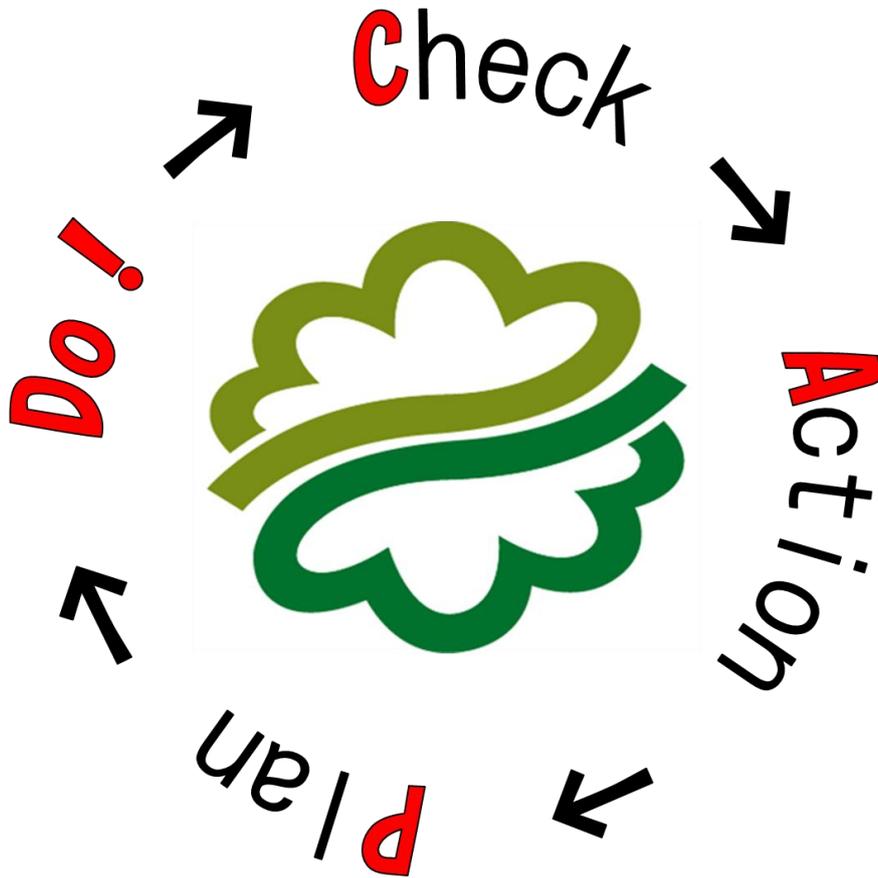
菊川市行財政改革

キャップドゥ

菊川市CAPDo!

『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画

- 平成 28 年度中間報告 -



【前期計画】平成 28 年度～平成 29 年度

平成 28 年 11 月 中間報告

静岡県菊川市

1 菊川市CAPDo!実施メニュー、担当部署、目標及び達成状況

目的	視点	分類	No.	実施メニュー	事業	即効度	難易度	担当部	担当課	H28年度に達成すべき目標	9月末までの進捗率目標(%)	実績(%)	H29年度に達成すべき目標	頁	
健全な行政基盤の確立	1健全行政マネジメント	効率的な行政運営	1	職員定員の適正化と人材の育成	継続	◎	A	総務部	総務課	・平成29年4月1日現在 316人	50	50	・平成30年4月1日現在 316人	2	
			2	新業務棚卸表の確立	新規	○	A	企画財政部	企画政策課	・新業務棚卸表制度を構築	60	50	・新業務棚卸表制度の運用	3	
		積極的な歳入確保	3	未収金対策の研究	新規	○	S	企画財政部	調整室	・未収金対策組織を確立 ・未収金額を前年度比9%改善	/	79	・未収金額を前年度比9%改善	4	
			4	税外収入の研究	新規	○	A	企画財政部	企画政策課	・ネーミングライツを含む新たな広告収入 300千円 ・クラウドファンディング事業案の決定	50	30	・ネーミングライツを含む新たな広告収入 300千円 ・クラウドファンディング事業の実施1件	5	
			5	新たな収納方法の拡充	新規	△	A	企画財政部	税務課	・新たな収納方法の構築のための基盤整備	50	70	・新たな収納方法の構築	6	
			6	ふるさと納税制度の活用	新規	◎	B	建設経済部	商工観光課	・寄付金総額 5,000万円以上 ⇒ 9,000万円以上	↗	92	・寄付金総額 7,500万円以上 ⇒ 1億2,000万円以上	7	
		公営企業会計の健全化と事業会計の安定化	7	国民健康保険特別会計の安定化	新規	◎	B	生活環境部	市民課	・ジェネリック医薬品普及率 40% ⇒ 67% ・特定健診受診率 38%	↗	47	47	・ジェネリック医薬品普及率 45% ⇒ 70% ・特定健診受診率 40%	8
			8	下水道経営の健全化	新規	◎	B	生活環境部	下水道課	・汚水処理原価に占める使用料単価の割合 82.9%以上	40	40	・汚水処理原価に占める使用料単価の割合 85.0%以上	9	
			9	水道経営の健全化	継続	◎	A	生活環境部	水道課	・水道事業会計純利益 10,000千円 ⇒ 40,000千円	↗	44	・水道事業会計純利益 20,000千円 ⇒ 60,000千円	10	
			10	病院経営の健全化	継続	○	S	菊川病院	経営企画課	・病院事業会計 経常収支比率 100%	/	96	・病院事業会計 経常収支比率 100%	11	
		財政基盤の強化	11	補助金の見直し	継続	○	B	企画財政部	企画政策課	・特徴や性質に合った補助金の分類	50	50	・適正な補助金等の見直し実施	12	
			12	使用料等の適正化	継続	◎	B	企画財政部	企画政策課	・使用料等の適正な料金設定	50	40	・使用料等の適正な料金設定(継続実施)	13	
			13	実質公債費比率・将来負担比率の適正化	継続	◎	A	企画財政部	財政課	・実質公債費比率 12.5% ⇒ 12.0%(H26-28の3年平均) ・将来負担比率 57.0% ⇒ 54.0%(H28決算)	50	50	・実質公債費比率 12.0% ⇒ 11.5%(H27-29の3年平均) ・将来負担比率 52.0% ⇒ 47.5%(H29決算)	14	
		2公共施設マネジメント	公有財産の最適管理	14	公共施設等総合管理計画の推進	新規	○	S	企画財政部	財政課	・公共施設等総合管理計画の完成	50	20	・分野ごとの取組計画(仮称)を作成	15
	15			公共施設の有効利用	新規	○	A	建設経済部	都市計画課	・平成29年3月末現在 入居率 90%以上	/	96	・平成30年3月末現在 入居率 92%以上	16	
	16			遊休市有地の有効利用	新規	◎	B	企画財政部	財政課	・柳町住宅用地の利用方法を決定	70	30	・旧消防署跡地の利用方法を決定	17	

【事業】 ⇒ 継続:6事業 新規:10事業
 継続:第2次集中改革プラン後期計画からの継続事業 新規:CAPDo!新規事業(第2次集中改革プラン後期計画から着目点を変更した事業を含む)

【即効度】 短期間で集中的に改革する度合い。 ⇒ ◎:8事業 ○:7事業 △:1事業
 ◎:即座に実施 ○:組織や制度を検討後に実施 △:数年後の実施に向けて準備

【難易度】 改革・改善の難しさの度合い。 ⇒ S:3事業 A:7事業 B:6事業
 S:手法を刷新するなど根本的な改善が必要 A:手法に大幅な改善や工夫が必要 B:手法に若干の改善や工夫が必要

【即効度】 経済性・効率性・有効性・必要性・先進性等を勘案した効果の表れる時期。 ◎:すぐに効果あり。 ○:数年後に効果あり。 △:将来的に効果あり。

実施メニュー	継続	担当部署	●●課(△△部)
分類	■■■	即効度	◎
		難易度	S
		達成状況	—

①C Check ■現状の課題を把握

現状の課題を記載しています。

②A Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】

目標を達成するための取組内容を記載しています。

③P Plan ■実施スケジュール

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画		上半期						下半期					
実績													
計画													
実績													
計画													
実績													
計画													
実績													

【進捗状況】 ■9月末時点

進捗率目標(%)	実施内容及び進捗状況
実績(%)	上記「②Action」の 9月末時点での 進捗状況を記載しています。
算出根拠	
課題と今後の取組み	

Do ■目標及びそのための取組

本年度及び来年度の目標を記載しています。

実施メニュー	1	継続	職員定員の適正化と人材の育成	担当部署	総務課(総務部)
--------	---	----	----------------	------	----------

分類	効率的な行政運営	即効度	◎	難易度	A	達成状況	-
----	----------	-----	---	-----	---	------	---

①C = Check ■現状の課題を把握	現状数値 (計画策定時)	平成27年4月1日現在 職員数318人
----------------------	-----------------	---------------------

「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】

目標達成の取組内容(計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・組織機構改革の実施 ・多様な任用形態の活用 ・職員研修による人材育成 	①	平成29年3月末までに
		②	定員管理計画(以下「計画」という。)に則った職員配置を行う。育児休業取得者が計画策定時の想定を大幅に上回るなどの事態が生じた場合には、計画自体の見直しを行う。

③P = Plan ■実施スケジュール

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
組織機構改革の実施	計画		実施方法調整	部長会説明	調整作業			◎政策会議	細部調整			◎確認 議会説明	
	実績		実施方法調整	部長会説明	調整作業								
多様な任用形態の活用	計画			再任用希望者把握		当年度非常勤職員等の配置調整			再任用者等配置調整		★再任用選考委員会		◎再任用者等配置確定
	実績			再任用希望者把握		当年度非常勤職員等の配置調整							
職員研修による人材育成	計画			3市広域研修計画に基づいた3市広域研修、外部研修、選抜指名研修の実施									
	実績			3市広域研修計画に基づいた3市広域研修、外部研修、選抜指名研修の実施									
職員の新規採用等人事管理	計画			退職希望者把握	★採用試験1次	★採用試験2次	★採用試験3次	◎採用者 内定	翌年度 人事配置 調整				◎職員配 置確定
	実績			退職希望者把握	★採用試験1次	★採用試験2次	★採用試験3次 (合格者決定)						

【進捗状況】 ■9月末時点

進捗率目標(%)	50	実施内容及び進捗状況
実績(%)	50	<ul style="list-style-type: none"> ・「組織機構改革の実施」 各部から29年度及び30年度以降の組織機構改革に向けた検討課題を聴取し、29年度の組織機構改革の総務課案を作成した。詳細について、各部と調整作業を行っている段階である。 ・「多様な任用形態の活用」 平成28年度末をもって定年退職となる職員の再任用希望について、状況の把握を行った。また、産休などにより年度途中から休業が生じる所属に対し、非常勤嘱託職員等の採用、配置を実施した。 ・「職員研修による人材育成」 3市広域研修計画に基づき、3市広域研修、外部研修、選抜指名研修の各研修を予定どおり実施した。選抜指名研修(派遣予定者5名)については、9月末までに次代のリーダー育成分野に1名、市の喫緊の課題対応分野に3名を派遣した。課題対応分野3名の研修テーマは、「超高齢社会に向けた医療と介護の連携の推進」、「子育て支援」、「空き家対策」である。 ・「職員の新規採用等人事管理」 本年度末における普通退職希望者の把握と退職意思の確認を行い、当該退職予定者数を考慮した上で、採用試験の合格者を決定した。
算出根拠		
年度末までの実施スケジュールに対し、上半期の実績が計画どおり進んでいるため50%とした。		

課題と今後の取組み

本市は今、子育て支援、地域包括ケアシステム構築、移住・定住促進、資産運営管理など、人・財を投入し、スピード感を持って取り組むべき課題を多く抱えている。これに対し職員の年齢構成を見てみると、ここ数年ベテラン職員が多く退職したことにより、50歳代の職員が減少し、20歳代の職員が増加するなど職員の若返りが進んでいる。これらの若い世代の職員に、ベテラン職員のスキルを確実に伝承していくことが求められる事態が生じている。また、20代から30代に女性職員が多く在職しているため、育児休業や部分休業を取得する職員数が増加していくことが見込まれる。加えて、少子高齢化により、家族の介護のために勤務時間に制約の生じてくる職員も今後は増加していくものと見込まれる。

現状は、職員の定員を増加の方向に導く要因が多いといえるが、

- ・効率的な業務運営を行っていくための組織機構改革の実施
- ・再任用職員の効果的な配置によるベテラン職員のスキルの活用と伝承
- ・人事評価面談を通じたスキルアップのための職員研修への参加促進
- ・人物重視の採用試験による新規職員の採用

などを通じ、組織力の強化を図り、定員の適正管理と人材の育成を図っていく。

年代	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	合計
人数	0	86	68	98	65	317

④D = Do ■目標及びそのための取組 ※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

H28	目標	平成29年4月1日現在 316人	H29	目標	平成30年4月1日現在 316人
-----	----	------------------	-----	----	------------------

実施メニュー	2	継続	新業務棚卸表の確立				担当部署	企画政策課(企画財政部)					
分類	効率的な行政運営		即効度	○	難易度	A	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	-								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の 取組内容 (計画)	・行政評価手法の研究 ・新業務棚卸表制度の位置づけの明確化等協議			①	平成29年3月末までに								
				②	新業務棚卸表の手法及び様式を決定させ、全庁に説明を行う								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
行政評価手法・運用方法・様式の決定	計画	担当者打合せ	課内打合せ・様式決定	---	◎								
	実績	担当者打合せ実施	課内打合せ実施	係内打合せ実施	担当者打合せ実施	課内打合せ実施	課内打合せ実施						
課長会議で全庁的に概要説明	計画				全庁説明(課長会議)								
	実績					全庁説明(部長会)	全庁説明(調整室会議)						
各課へ説明	計画				各課説明								
	実績												
導入準備	計画										準備		
	実績												
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	60		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	50		作成者の事務負担の軽減を図るため、行政評価に総合計画の進捗管理機能を持たせる評価方法を検討してきた。部署ごとに業務棚卸表を用いて行政評価を行っているが、それぞれが作成するシートのレベル感に差があり、政策評価機能が十分に働いていないことなどが課題として生じている。										
算出根拠			上記課題の解決を図るため、第2次菊川市総合計画の構成に合わせ、各シートのレベル感を合わせる様式とするとともに、総合計画の進捗管理機能を高めるため、シートのレイアウトを変更した。										
課長への説明以前に、部長へ説明を行い、作成方法やスケジュール等について意見を聴取することとしたため、当初想定したスケジュールに比べ若干の遅れが生じているが、進捗率としては全体作業工程の50%程度と判断した。			様式案について、8月開催の部長会、9月開催の調整室会議で説明を行った。事務負担の軽減や政策評価手法について意見を受けたため、再度課内で検討している。										
課題と今後の取組み													
<ul style="list-style-type: none"> 各課が所管する各種計画や事業執行の妨げにならないよう、平成29年度からの運用スケジュールについては、他調査との調整を行うこととしている。 作成にあたっては、作成する担当の過度の負担とならないよう、様式中で文字を入力する箇所を減らす等の工夫を行い、作成に当たる事務負担を軽減させるよう様式案を検討していく。 政策評価について、評価機能を確保しつつ、作成者が記入し易い様式となるよう調整する。 所属長及び担当者の行政評価及び業務棚卸表の理解が不可欠であるため、部・課への説明を始め、行政評価マニュアルを作成する。 													
④D = Do ■目標及びそのための取組				※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照									
H28	目標	新業務棚卸表制度を構築			H29	目標	新業務棚卸表制度の運用						

実施メニュー	3	新規	未収金対策の研究	担当部署	調整室(企画財政部)
--------	---	----	----------	------	------------

分類	積極的な歳入確保	即効度	○	難易度	S	達成状況	-
----	----------	-----	---	-----	---	------	---

①C = Check ■現状の課題を把握	現状数値 (計画策定時)	未収金額前年度比8.31%の改善 ※平成25と26年度決算の比較
----------------------	-----------------	-------------------------------------

「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】

目標達成の取組内容(計画)	・「菊川市徴収対策会議」を含めた未収金対策組織を確立 ・未収金対策について検討し、次年度に反映	①	平成29年3月までに 未収金額を前年度比9%改善
		②	未収金対策組織の確立のため、徴収対策会議・徴収対策ワーキンググループ要綱作成する。組織確立後、税務課徴収対策係と連携しながら徴収対策会議・徴収対策ワーキンググループ・徴収事務実態調査の実施の中で、各債権最低1件何らかの事務改善を行う。

③P = Plan ■実施スケジュール

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
徴収対策会議・徴収対策ワーキンググループ要綱作成	計画	作成作業	内容調整	完成									
	実績	作成作業	内容調整	完成									
徴収対策会議の開催	計画	★開催	開催準備	★開催			開催準備	★開催				開催準備	★開催
	実績	★開催	開催準備	開催準備	★開催		★WG開催						
徴収事務実態調査の実施	計画		日程調整・★実施	★実施									
	実績		日程調整・★実施	★実施									
事務改善案検討・提案・協議・実施	計画			実施	徴収事務実態調査の結果をもとに、事務局・徴収対策WG等で改善案を検討し、担当課にて改善を実施。								実績報告
	実績			実施	→	→	→						

【進捗状況】 ■9月末時点

進捗率目標(%)	-	実施内容及び進捗状況
実績(%)	79	<p><平成28年6月までに未収金対策組織の確立> これまで任意の会議として未収金対策の検討を行ってきた「税、料金等に関する徴収対策会議」について「菊川市税及び料金等に関する徴収対策会議要綱」を定め、正式な検討組織として位置付けた。(以下「徴収対策会議」という。) また、担当課長で構成する「菊川市税及び料金等に関する徴収対策会議」に対し担当者により事務レベルでの未収金対策の研究を進めるため「菊川市税及び料金等に関する徴収対策ワーキンググループ要綱」を定め、新たな組織(以下「WG」という。)として活動を始めた。 ●「徴収対策会議(4月・7月)」及び「WG(9月)」を開催 「徴収対策会議」において、本年度の未収金額縮減及び債権適正管理への取り組みについての説明、平成27年度徴収実績(決算)報告、平成28年度各債権徴収計画等の報告、7月までの事務局の活動報告を行った。「WG」においては、上半期の事務局における活動報告及び債権徴収管理の基礎について説明を行った。 <平成29年3月までに未収金額を前年度比9%改善> ①徴収対策会議及びWGの事務局が、先進地である磐田市へ訪問し、徴収への取り組み状況等の聞き取りを行った。 ②事務局で、WG所属メンバーの徴収事務の状況の聞き取りを行うとともに徴収方法・管理方法に関する助言を行った。 ③浜松市から徴収事務に関する資料「徴収の手引き」の提供を受け、事務について研究を行った。 これらの活動の中で得た情報をもとに、当市における徴収事務において法的にどこまでできるのかを研究しているところである。 現時点の成果としては、一部の債権において、債権間での未納者に関する情報の共有が国において認められていることが判明したため、情報の活用を進めているところである。</p>
算出根拠		
①未収金額9%改善に必要な徴収額 254,172,204円		
②平成28年度8月末現在の徴収額 201,042,396円		
③目標までの実績割合 79.10% (②201,042,396円/①254,172,204円)		

課題と今後の取組み

<今後の方針・課題>
 ・債権間の情報共有が可能な債権については、情報の活用が一層図られるよう、事務局により各担当課に対し事務手続き方法についての助言などの支援を行う。
 ・他市で行われている優良事例などの情報を収集し、徴収対策WGにて研究し、本市において取り入れることが可能なものは取り入れていく。
 ・市が保有する債権は、債権毎に法的な分類によって、取り扱い方法が異なるため、各債権が法的にはどう取り扱われるべきか、未収金を徴収にあたってはどのようなことが可能で、どのようなことが不可能なのかなどを調査研究し、取り扱い方法を整理する必要がある。
 ・上記についての調査研究のなかで、「予算措置」、「人的体制の整備」、「条例等の整備」などが必要となることが想定される。未収金対策を進めるうえで、何が必要となるのかを整理し、必要となるものの確保への対応を進める必要がある。

④D = Do ■目標及びそのための取組 ※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

H28	目標	・未収金対策組織を確立 ・未収金額を前年度比9%改善	H29	目標	未収金額を前年度比9%改善
-----	----	-------------------------------	-----	----	---------------

実施メニュー	4	新規	税外収入の研究				担当部署	企画政策課(企画財政部)					
分類	積極的な歳入確保		即効度	○	難易度	A	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	-								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の 取組内容 (計画)	・ネーミングライツ等広告事業の実施 ・クラウドファンディングの研究、制度の構築、 対象事業の決定			①	平成29年3月末までに								
				②	ネーミングライツを含む新たな広告収入を300千円以上とする。 クラウドファンディング事業案を決定させる。								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
広告事業の実施	計画			図書館 バッグ広 告検討			★ 図書館バッグ 広告募集(図 書館)	成人式のしお り広告募集 (社会教育課)			納税通知用封 筒広告募集 (税務課)		
	実績			広告検討			要綱案作 成						
ネーミングライツ事業の実施	計画	係内検 討・調整	----->	各課との 協議	選定委員 会準備	選定委員 会開催	契約	看板設置 等					
	実績	係内検 討・調整	----->	事業内容 検討									
職員提案制度における新たな財 源確保手段の確立	計画	職員提案 推進月間			事務改善 委員会審 査	各課実施 検討依頼							効果・取 組内容の 検証
	実績	職員提案 推進月間			事務改善 委員会審 査	各課実施 検討依頼							
クラウドファンディング事業の検 討	計画	職員提案 で事業を 募集			事務改善 委員会審 査	実施検討 する事業 の決定	事業実施 方法の検 討	----->	◎ 方法決定	要綱作成	----->	----->	◎ 要綱完成
	実績	職員提案 で事業を 募集			事務改善 委員会提 案紹介	各部提案 検討	事務改善 委員会審 査						
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	50		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	30		<p><広告事業> ・本年度新たに図書館の貸出バッグの広告事業を検討している。 11月以降の募集に向け、要綱を作成中である。 ・税務課の納税通知用封筒、社会教育課の成人式のしおりについて継続実施予定。</p> <p><ネーミングライツ> 事業内容の検討を行ったが、実施に向けて事業内容が決定していない。現在ネーミングライツ事業を契約して いる企業(さわやか株式会社・遠州鉄道株式会社)に対しては、契約継続のため、企業訪問や交流会への参加 等を行った。</p> <p><新たな財源確保手段の確立> 全職員から職員提案制度の中で案を募った。5月に職員提案推進月間を実施し、450件の提出を受け、事務改 善委員会で各課へ依頼する提案の選定を行い、7月に8件の実施検討依頼を行った。クラウドファンディング事 業についても、職員提案制度の中で各部署の職員から案を募り、39件の提案があり、実施可能性の検討を行っ ている。</p>										
算出根拠	<p>ネーミングライツ事業及びクラウドファンディングについて事業について、事業選定までに至らず実施可能性 を検討しているため、当初想定したスケジュールに比べ若干の遅れが生じており、進捗率としては全体作 業工程の30%程度と判断した。</p>												
課題と今後の取組み													
<p>・広告事業について、現在実施している事業の継続を行うとともに、新規事業を展開していくことを検討している。 現在実施している事業及び実施予定の事業のPRを行い、似た事例が実施可能な部署への水平展開を図る。</p> <p>・ネーミングライツ事業について、対象施設の拡大も視野に入れ、事業検討を進めていく。</p> <p>・新たな財源確保について、職員提案制度の中で実施検討依頼をしている提案を実施につなげる。 担当課と連携し、課題の解決方法や実施スケジュールについて協議していく。 また、10月にも追加で2件実施検討依頼を行う予定。</p> <p>・クラウドファンディング事業については、事業実施に向けて、他市の事例や手法の研究を進める。 職員提案制度で出た案について個別に実施可能なものを検討していく。</p>													
④D = Do ■目標及びそのための取組													
※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
H28	目標	・ネーミングライツを含む新たな広告収入 300千円 ・クラウドファンディング事業案の決定				H29	目標	・ネーミングライツを含む新たな広告収入 300千円 ・クラウドファンディング事業の実施1件					

実施メニュー	5	新規	新たな収納方法の拡充				担当部署	税務課(企画財政部)					
分類	積極的な歳入確保		即効度	△	難易度	A	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)		-							
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の 取組内容 (計画)	・対象とする税等の決定 ・運用方法の決定			①	平成28年10月末までに								
				②	市税等の支払い方法にクレジットカードでの支払方法の導入を検討する。検討の結果、可能となった場合にはH29当初予算に費用を計上する。 また、スマートフォンやATMから支払うことができるペイジー収納サービスについて、費用対効果等を総合的に考慮し、導入に向けた研究をする。								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
クレジットに係るのシステム対応	計画		現状確認	---	対応確認	---	改修見積	---	予算要求				
	実績		現状確認	---	対応確認	---	改修見積						
クレジットに係る関係課等との打合せ	計画		検討	★	★	★	★	◎					
	実績		検討	---	---	---	---						
ペイジーに係る検討	計画		現状確認	---	対応確認	---	検討	---	---	---	---	---	◎
	実績		現状確認	---	対応確認	---	検討中止						
	計画												
	実績												
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	50		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	70		<ul style="list-style-type: none"> クレジット収納に係るセミナーに参加した。 クレジット収納対応のための現税システムの改修費用や税システムと連携する徴収管理システムの改修費用についてシステム業者から見積りを徴取した。 県内他市町におけるクレジット収納やペイジー収納の対応状況を調査した。 関係課等との打合せについては、クレジット収納においては水道料金の場合、収納金額の1%を手数料として支払わなくてはならないなど納付金の種類によって取り扱いが異なる。また、その他の「介護保険料」や「保育料」などはシステムの対応ができれば後からでも参入が可能であることから、まずは納付書発行件数が一番多い税金収納で導入後に、利用状況など効果があれば他へ広げていくことが効率的であると考え、関係課全体ではなく、まず税務課のみで検討を行うこととした。 インターネットバンキングやモバイルバンキングにおけるペイジー収納への対応については、パッケージにて導入している当市の税システムでは対応できないため、システム改修が必要となり、「改修には億円単位の費用が必要」とのシステム業者から回答があったことから、改修費に見合う新たな収入の確保が見込めないペイジー収納についての検討は今回は行わないこととした。 										
算出根拠	実施スケジュールのうちペイジーについては検討を取りやめ、クレジット収納へのシステム対応については関係課全体ではなく税務課単独で検討を行うようにするなど一部については大きく進捗したため、進捗率としては全体作業工程の70%程度判断した。												
課題と今後の取組み													
クレジット収納の課題 ・収納割合は先進市で1%程度となっている。導入した場合、導入した1%分が全体収納率として1%高くなるのではなく、収納の内訳として納税者の納付方法が変更されるというものである。そのため、収納率や収納金額が向上しないが、市民サービスの向上(収納機会の拡大)のために多大な費用を費やすということについて、市民サービスと財政負担とのバランスの点で、どう判断するか。 ・「手数料」が発生するが、市が負担する手数料の金額設定をどうするか。 ・「収納データの取り込み」にはインターネット環境に接続することが必要であるが、セキュリティの面で安全性が確保されるか。													
④D = Do ■目標及びそのための取組													
※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
H28	目標	新たな収納方法の構築のための基盤整備					H29	目標	新たな収納方法の構築				

実施メニュー	6	新規	ふるさと納税制度の活用				担当部署	商工観光課(建設経済部)					
分類	積極的な歳入確保	即効度	◎	難易度	B	達成状況	-						
①C = Check ■現状の課題を把握			現状数値 (計画策定時)	633万円 ※平成26年度決算									
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案			【①いつまでに②どうする】										
目標達成の 取組内容 (計画)	・魅力ある贈答品の見直しと拡充 ・贈答品協力企業、業者の募集		①	平成29年3月末日までに									
			②	菊川市ふるさと納税制度を周知し、より多くの寄附を募るため、PRパンフレットを2,000部以上配布する。 また、市内産業の活性化を図るため、寄附者へのお礼の品を68品目から100品目以上へ拡充する。									
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
菊川市ふるさと納税PRパンフレットの作成、配布	計画	作成	----->	完成	配布								
	実績	作成	----->	完成	配布								
魅力ある返礼品の調査・研究	計画	調査・研究	----->										
	実績	調査・研究	----->										
市内事業者等への提案・調整	計画	提案・調整	----->										
	実績	提案・調整	----->										
返礼品の拡充	計画			拡充 (70品目) ★			拡充 (80品目) ★			拡充 (90品目) ★			拡充 (100品目) ★
	実績			拡充 (70品目) ★			拡充 (75品目) ★						
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	-		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	92		菊川市へのふるさと納税を促進するため、本市のふるさと納税制度に係る市内外へのPRを行い、お礼の品の品数拡充を計画的に進めている。お礼の品の拡充にあつては、市内事業所等への訪問や品目の提案を行い、28年度から取り組んでいるふるさと納税サイトを定期的に更新することにより、納税者の利便性の向上にも努めた。 また、市外納税者へのPRを行うため、民間事業所との連携による周知(パンフレット配布)を広範囲に行うなど、今年度の目標寄附額に向けて取り組みを進めている。										
算出根拠													
寄附実績額/目標寄附額 【H28.9.25現在】													
45,775,000円/50,000,000円 =0.9155≒実績率92%													
課題と今後の取組み													
本制度は県内のほぼすべての市町で本格的に取り組まれている。他市町との競争を勝ち抜くため、今後も他市町にはない魅力あるお礼の品を取り揃えていく必要がある。 本年度の目標寄附額については、これまで順調に推移してきたが、年度当初から毎月ほぼ横ばいの状況にあり右肩上がりの状況には至っていない。今後もさらに菊川市ふるさと納税制度の市内外へのPR強化、魅力ある新たなお礼の品の拡充を検討していく。 納税者のニーズを掴み、PR先(ターゲット)の検証や高額寄附者へ向けのお礼の品の区分(高額品)の設定、他市町の取り組み状況の研究、市内事業者による特色ある産品をメニュー化していくことなども引き続き行っていく。													
④D = Do ■目標及びそのための取組													
※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
H28	目標	寄附金総額 5,000万円以上 ⇒ 9,000万円以上				H29	目標	寄附金総額 7,500万円以上 ⇒ 1億2,000万円以上					

実施メニュー	7	新規	国民健康保険特別会計の安定化				担当部署	市民課(生活環境部)					
分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化		即効度	◎	難易度	B	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	・ジェネリック医薬品普及率39.2% ※平成27年11月調剤分まで ・特定健診受診率30.4% ※平成27年12月健診まで								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の取組内容(計画)	・ジェネリックの差額通知発送 ・保険証発送通知にジェネリックに関するチラシを同封 ・特定健診受診に関する啓発活動			①	平成29年3月末までに								
				②	ジェネリックへの切り替え促進対策、特定健診受診に関する啓発活動を実施し、ジェネリック普及率を67%以上、特定健診受診率を38%以上とする。								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
・ジェネリック すこやかワーキング等での周知	計画			資料等収集	周知・配布						資料等収集	周知・配布	
	実績			資料等収集	周知・配布								
・ジェネリック 差額通知の発送 保険証発送通知へのチラシ同封 特定健診チラシへの医療費抑制 記事の掲載	計画		チラシ等作成	チラシ配架 依頼・差額 通知作成	→	差額通知 発送				差額通知 作成	→	差額通知 発送	
	実績		チラシ等作成	チラシ配架 依頼・差額 通知作成	→	差額通知 発送							
・特定健診 健康づくり推進委員、JA、医療機 関等への周知 小笠医師会との連携 その他周知活動	計画	推進委員・ 医師会への 説明	チラシ等作 成	チラシ配架 依頼				医師会等へ の依頼・車 両広報		医師会等へ の依頼	→	車両広報	
	実績	推進委員・ 医師会への 説明	チラシ等作 成		→	チラシ配架 依頼							
・特定健診 集団健診の実施 総合検診との同時実施	計画	健康づくり 課との協議	総合検診通 知への掲載	申込受付			→	集団健診通 知発送	申込まとめ	集団健診・ 総合検診実 施			
	実績	健康づくり 課との協議	総合検診通 知への掲載	申込受付			→						
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	47		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	47		ジェネリック ・7月開催の健康増進庁舎内ワーキング会議において、医療費の増等について説明した。 ・8月に445通のジェネリック差額通知を発送した。 ・保険証発送通知にジェネリックの活用について掲載した。										
算出根拠	①ジェネリック医薬品普及については、年度未までの実施スケジュールに対し、上半期の実績が計画どおり進んでいるため50%とした。 ②特定受診率については、健診が6~2月(9か月間)に実施され、現在9月末までの4か月健診を実施しているため、4か月/9か月=44% 進捗率=(①+②)/(2(半年))=(50+44)/2=47%												
特定健診 ・保険事業打合せ(小笠医師会)及び健康づくり推進委員総会へ出席し、特定健診についての説明や協力依頼を行った。 ・JAや商工会、医療機関や地区センターへチラシやポスターを配布し、周知について協力を依頼した。 ・広報きくがわ5月号へ特定健診のお知らせ、9月号へ集団健診のお知らせを掲載した。													
課題と今後の取組み													
ジェネリック ・医師の中にはジェネリックに否定的な考えを持つ方もいるため、慎重な対応が求められる。 ・2月に2回目の差額通知の発送を行う。													
特定健診 ・集団健診の実施や総合検診との同時実施、車両広報等の実施により、更なる受診者の増加に取り組む。													
④D = Do ■目標及びそのための取組				※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照									
H28	目標	・ジェネリック医薬品普及率 67% ・特定健診受診率 38%			H29	目標	・ジェネリック医薬品普及率 70% ・特定健診受診率 40%						

実施メニュー	8	新規	下水道経営の健全化				担当部署	下水道課(生活環境部)					
分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化		即効度	◎	難易度	B	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	汚水処理原価に占める使用料単価の割合: 79.5%								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の 取組内容 (計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画に基づき適正な修繕等を実施 ・アクションプランを策定、約10haの面整備 ・未接続世帯等に対し年間3回以上の戸別訪問 			①	平成29年3月末までに								
				②	汚水処理の10年程度での概成を目指すためのアクションプランを策定する。 また、供用開始1・2年目未接続世帯に対する戸別訪問を延べ3回以上実施する。								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アクションプラン策定	計画				案作成	→	県協議						★ 策定
	実績				案作成	→							
接続促進(供用開始1・2年目未接続世帯への戸別訪問及び通知)	計画		早期接続 お願い通知	1年目	→		2年目	→	1年目	→	集中取組	→	
	実績		5/11 早期接続 お願い通知 ★		1年目未接続戸別訪問	→	8/20早期接続 お願い通知 ★						
菊川浄化センター定期点検及び修繕	計画		消泡水ポンプ 自家発電蓄電池 発注	酸素発生 発注							完了		
	実績		5/11 消泡水ポンプ 自家発電蓄電池 ★										
	計画												
	実績												
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	40		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	40		<p>アクションプランの策定 現在、浄化槽を含めた案を作成中。 9月に県との協議を予定していたが、10月に第4期変更認可と併せて行うことになった。</p> <p>接続促進 5・8月に供用開始1・2年目未接続世帯222世帯に対し、早期接続のお願い文書を発送した。 (1年目:個人159件・事業所等24件 2年目:個人32件・事業所7件) 7～9月に掛けて供用開始1年目未接続世帯50世帯(柳:34件 島:16件)に対し、戸別訪問を実施した。 このうち、14件が接続する若しくは検討中となっている。 8月末の供用開始1年目接続率:33.2%(対象件数:193件 接続済:64件)</p> <p>菊川浄化センター定期点検及び修繕 5月に予定どおり、消泡水ポンプ定期点検及び自家発電蓄電池取替業務委託を発注し、9月末までに完了する。 酸素発生装置定期点検は、自家発の緊急修繕に伴い、9月補正後の発注となった。(10月発注予定)</p>										
算出根拠													
実施スケジュールから一部実施時期の変更はあったものの進捗率としては全体作業工程の40%程度と判断した。													
課題と今後の取組み													
<p>アクションプランの策定 今後の取組みは、早期に県との協議を行い、年度内に策定する。</p> <p>接続促進 課題は、供用開始1年目の接続率の低下(目標値:70% 近年:60%程度)で、未接続となっている理由の多くが、「見積りを取ったが高額(70万円～100万円)であった」「後継者がいない」「高齢世帯で年金生活」となっている。戸別訪問により公共用水域の保全や生活環境の保全を訴え、早期の接続をお願いしていくが、年金生活等の理由により未接続となっている世帯に対しては、押し付けにならないよう気を付けなければならない。 今後の取組みは、9月下旬から10月末に掛けて供用開始2年目未接続世帯(39件)、11月～翌年2月末に掛けて供用開始1年目未接続世帯に対する戸別訪問を実施し、供用開始1年目の接続率目標値である70%を目指し、使用料収入の増加を図る。</p> <p>菊川浄化センター定期点検及び修繕 課題は、突発的な修繕に関するところで、機器導入メーカーが推奨する定期点検を全て行っていけば未然に防ぐことが可能であるが、現在は最低限の点検しか実施していないため、突発的な修繕が発生するリスクを負っている。このため、菊川浄化センターの維持管理会社と連携を図り定期点検等を実施しているが、本年6月にこれに伴う自家発が始動できなくなる故障が発生している。今後の取組みとしては、10月に酸素発生装置の定期点検の発注を行い、突発的な修繕については適宜対応していく。今後も機器導入メーカー及び維持管理会社と連携を図り、計画的な定期点検等を実施し、維持管理費の削減に努めていく。</p>													
④D = Do ■目標及びそのための取組				※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照									
H28	目標	汚水処理原価に占める使用料単価の割合 82.9%以上				H29	目標	汚水処理原価に占める使用料単価の割合 85.0%以上					

実施メニュー	9	継続	水道経営の健全化	担当部署	水道課(生活環境部)
--------	---	----	----------	------	------------

分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化	即効度	◎	難易度	A	達成状況	-
----	---------------------	-----	---	-----	---	------	---

①C = Check ■現状の課題を把握	現状数値 (計画策定時)	水道事業会計純利益:2,377千円 ※平成26年度決算
----------------------	-----------------	--------------------------------

「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】

目標達成の取組内容(計画)	・給水収益の増加(収納率95%以上) ・業務工程管理の徹底と水道施設管理費の削減 ・漏水調査委託の実施	①	平成29年3月までに
		②	水道料金に対する収納率98%を維持する。 また、年間有収率向上のため、具体的かつ効果的な漏水改善対策を講じる。

③P = Plan ■実施スケジュール

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外部委託業者との連携	計画	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施	業務報告会実施
	実績	★ 4/21	★ 5/19	★ 6/20	★ 7/21	★ 8/19	★ 9/21						
コンビニ利用による料金収納	計画	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円	700件 4,000千円
	実績	857件 5,038千円	1,379件 7,204千円	925件 5,094千円	968件 5,447千円	1,251件 6,564千円	1,076件 5,869千円						
老朽管の改良	計画	設計・積算 発注	-----	-----	-----	工事施行						検査・支払	検査・支払
	実績	設計精算・協議(県)	-----	-----	-----	発注1件(改良)	発注2件(補助1、改良1)						
漏水調査の実施	計画	調査手法の確認	-----	-----	調査手法の確定	調査実施			調査結果のまとめ	当初予算反映			
	実績	調査手法の確認	-----	-----	小規模事前調査	調査結果検討まとめ	調査箇所選定						

【進捗状況】 ■9月末時点

進捗率目標(%)	-	実施内容及び進捗状況
実績(%)	44	<ul style="list-style-type: none"> 外部委託業者との連携 月1回、委託業者と業務報告会を実施し、収納状況、滞納状況等を把握した。 コンビニ利用による料金収納 平成27年4月からコンビニ収納が開始された。昨年に比べ、件数・金額ともに大幅な伸びを示している。納付窓口の拡大による利便性が確保されたことにより、納期限内の収納率が向上され、安定した財政基盤の確保に繋がった。 前年度上半期対比 件数:平成27年度3,177件、平成28年度6,456件 対比203%(103ポイントの上昇) 金額:平成27年度17,171千円、平成28年度35,216千円 対比205%(105ポイントの上昇) 参考:収納率96.24%(平成28年8月末現在の全収納率) 老朽管の改良 国補助事業は補助金額の充当率の減額に伴い、当初6事業発注する予定だったが、2事業を次年度以降に繰越しを行い、さらに2事業については施工箇所が同一箇所であるため一括での発注を進めている。現在3事業中1件が発注済となっている。拡張事業は、県河川改修(県道橋改築)に伴う施工のため、今年度県の工事延期に伴い、次年度以降に延期。改良事業5件のうち2件は発注済みであり、残り3件の内、1件は県河川改修が遅延のため、次年度以降に延期し、その他2件発注済、1件は県河川改修の遅延により12月発注の見込み。 残る1件は県農林の事業箇所選定遅延により12月発注もしくは次年度以降に延期となる。 なお、事業費に対する執行率は41.4%である。 漏水調査の実施 本調査に備えて実験的に下内田地内で小規模調査を行った。 小規模調査の結果、場所によっては音調棒等による従来の調査が必要となる。
算出根拠		
○上半期純利益の算定		
収益-費用=上半期純利益		
712,679,625円-685,809,152円=		
26,870,473円		
○実績(%)の算定		
上半期純利益÷目標数値×100		
=26,870,473円÷60,000,000円×		
100=44.78%≒44%		

課題と今後の取組み

- 外部委託業者との連携 引き続き、月1回委託業者と業務報告会を開催し、収納状況等を把握する。また、定期的な給水停止を実施しつつ、収納率向上に向けた取組みを図る。
- コンビニ利用による料金収納 コンビニ収納事業を継続・周知し、納期限内収納率の向上を図る。
- 老朽管の改良 未発注の工事については、12月までに発注を行い、年度内完成に向け事業を進めていく。
- 漏水調査の実施 本調査に先駆けて、小規模調査を行ったが、やはり完璧ではなく、場所によっては音調棒等による従来の調査が必要となる。また、次年度以降継続する調査となるので、昨年度の基礎調査をもとに調査区域の設定等、綿密な事前検討を行い、正確な調査実施につなげていく。

④D = Do ■目標及びそのための取組 ※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

H28	目標	水道事業会計純利益 40,000千円	H29	目標	水道事業会計純利益 60,000千円
-----	----	--------------------	-----	----	--------------------

実施メニュー	10	継続	病院経営の健全化				担当部署	経営企画課(菊川病院)					
分類	公営企業会計の健全化と事業会計の安定化		即効度	○	難易度	S	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	経常収支比率:99.4% ※平成26年度決算								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の 取組内容 (計画)	・目標管理制度の実践 ・新公立病院改革プランを策定			①	平成29年3月までに								
				②	バランス・スコアカードを活用した目標管理制度により「菊川市立総合病院第二次中期計画」を推進するとともに、平成29年度から平成32年度までを期間とした「新公立病院改革プラン(第三次中期計画)」を策定する。								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院長方針説明会の開催と診療部ヒアリングの実施	計画		★ 方針説明	診療部 ヒアリング	→				★ 方針説明	診療部 ヒアリング	→		
	実績		★ 方針説明	診療部 ヒアリング	→			★ 方針説明					
BSCによる目標管理の推進 (アクションプラン「AP」の推進)	計画	AP決定	(実行) 発表会開催		(進捗管理)			中間ヒア		(進捗管理)		期末ヒア 発表会開催	次年度 AP検討
	実績	AP決定	(実行) 発表会開催		(進捗管理)								→
新公立病院改革プラン (第三次中期計画)の策定	計画	事業着手	現状分析	→	→	戦略策定	→	→	素案完成	調整	→	計画完成	次年度 AP検討
	実績	事業着手	現状分析	→	→	戦略策定	-----						
中期計画事業評価委員会 の開催	計画				★			★		★		★	
	実績				★			-----					
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	-		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	96		○目標管理制度の実践 ・5月に前期院長方針説明会を開催し、6月に診療部を対象に前期院長ヒアリングを実施。 9月に病床機能転換の方針説明会を開催。 ・第二次中期計画の目標を達成するため、各部署ごとにアクションプラン(AP)を作成。 情報共有のためAPの内容を各部門長が各部署へ説明。 ・APは毎月BSCシートへ入力を行い各部署で進捗管理を実施。 ・7月に事業評価委員会(外部委員)を開催し、平成27年度の経営状況とアクションプランの実施状況について報告した。 ○新公立病院改革プラン(第3次中期計画)の策定 ・計画の策定にあたりコンサルタントに業務を委託し、現在、内部・外部環境の分析が終了し、幹部職員で構成される院内策定会議を2回開催した。この間に、静岡県内の地域医療構想で不足とされている回復期機能の転換を検討し、急性期3病棟中の1病棟を「地域包括ケア病棟」へ機能転換することを決定した。同月の事業評価委員会で、第3次中期計画策定の趣旨を説明した。										
算出根拠	9月末で算出 経常収支比率(%)： (医業収益+医業外収益) /(医業費用+医業外費用)*100 =(2,233+333)/(2,552+127) =95.8% ※95.3%(8月末)												
課題と今後の取組み													
○目標管理制度の実践 取組み ・10月にAP中間ヒアリングを予定。11月から12月に診療部を対象に後期院長ヒアリングを予定。 ・AP進捗管理のため2月に最終ヒアリングを実施し、成果発表会を開催。結果を踏まえて次年度のAPを作成。 課題：今後、新公立病院改革プランとの整合性を持ったAPの策定が必要となる。このため、その策定の方法等の検討が必要となる。													
○新公立病院改革プラン(第3次中期計画)の策定 取組み：院内策定会議で計画の原案を策定し、事業評価委員会(外部委員会)や議会全員協議会での意見を反映させて3月末までに完成する。 課題：診療報酬がマイナス改定される中、費用面では給与改定や法定福利費の増加、消費税の増税が予定されており、増収対策と費用削減により、どの程度収支改善を行うことができるかが課題である。													
④D = Do ■目標及びそのための取組				※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照									
H28	目標	病院事業会計 経常収支比率 100%			H29	目標	病院事業会計 経常収支比率 100%						

実施メニュー	11	継続	補助金の見直し			担当部署	企画政策課(企画財政部)																																									
分類	財政基盤の強化		即効度	○	難易度	B	達成状況	-																																								
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	-																																											
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照																																																
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】																																												
目標達成の 取組内容 (計画)	・「補助金等の見直し指針」の改正 ・種別に応じた評価シートの作成			①	平成29年3月末までに																																											
				②	補助金の分類を行い、種別に応じた評価シートを作成する																																											
③P = Plan ■実施スケジュール																																																
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																																			
特徴や性質に合った補助金の分類	計画		補助金一覧リスト作成		→			種別に応じた評価シートの作成	→	補助金の分類		→																																				
	実績							補助金一次抽出リスト作成																																								
H29補助金見直しの準備	計画										担当課評価の実施		→																																			
	実績																																															
補助金見直し指針の改正	計画					補助金見直し指針の改正(確認)	→	本部会(協議)	→	懇話会(報告)																																						
	実績					素案作成	→																																									
	計画																																															
	実績																																															
【進捗状況】 ■9月末時点																																																
進捗率目標(%)	50		実施内容及び進捗状況																																													
実績(%)	50		<p>「補助金等の見直し指針」については、今回の新たな要素である補助金の分類方法について研究を深め、素案を作成している。</p> <p>平成27年度(決算)を参考に、名称等から次年度見直し対象となる補助金の一次抽出を行い、右図のとおり一覧リスト(仮)を作成した。</p> <p>現在、補助金要綱との突合を行い、一覧リストを精査している。</p>																																													
算出根拠			<table border="1"> <caption>平成27年度決算抽出</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>本数</th> <th>支出命令額 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>総務部</td><td>6</td><td>7,941,000</td></tr> <tr><td>危機管理部</td><td>3</td><td>13,991,000</td></tr> <tr><td>企画財政部</td><td>5</td><td>6,228,463</td></tr> <tr><td>生活環境部</td><td>10</td><td>73,488,128</td></tr> <tr><td>健康福祉部</td><td>27</td><td>106,404,005</td></tr> <tr><td>建設経済部</td><td>46</td><td>250,881,057</td></tr> <tr><td>会計管理者</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>教育文化部</td><td>25</td><td>143,600,700</td></tr> <tr><td>議会</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>消防署</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>122</td><td>602,534,353</td></tr> </tbody> </table>											本数	支出命令額 計	総務部	6	7,941,000	危機管理部	3	13,991,000	企画財政部	5	6,228,463	生活環境部	10	73,488,128	健康福祉部	27	106,404,005	建設経済部	46	250,881,057	会計管理者	0	0	教育文化部	25	143,600,700	議会	0	0	消防署	0	0	合計	122	602,534,353
	本数	支出命令額 計																																														
総務部	6	7,941,000																																														
危機管理部	3	13,991,000																																														
企画財政部	5	6,228,463																																														
生活環境部	10	73,488,128																																														
健康福祉部	27	106,404,005																																														
建設経済部	46	250,881,057																																														
会計管理者	0	0																																														
教育文化部	25	143,600,700																																														
議会	0	0																																														
消防署	0	0																																														
合計	122	602,534,353																																														
課題と今後の取組み																																																
<p>10月18日開催の行財政改革推進本部会において「菊川市補助金等の見直し指針(案)」の協議をし、行財政推進懇話会に説明を行い、その後、改訂する。</p> <p>補助金評価シートの作成については、適宜財政課との調整を行い、決定することとしている。</p> <p>また、見直し対象である補助金の特徴や性質に沿った分類を行うため、本年度内に各課へ補助金業務の「見直しカルテ」の作成を依頼する。</p> <p>また、併せて、補助金の要綱と過去2年の実績報告書を収集し、本年度内に整理するとともに、補助金の分類及び平成29年度当初からの業務が円滑に進むよう準備を進める。</p> <p>見直し対象の一覧リストについては、補助要綱及び実績書との突合を経て、平成29年度当初予算を反映し、決定することとする。</p>																																																
④D = Do ■目標及びそのための取組				※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照																																												
H28	目標	特徴や性質に合った補助金の分類			H29	目標	適正な補助金等の見直し実施																																									

実施メニュー	12	継続	使用料等の適正化				担当部署	企画政策課(企画財政部)					
分類	財政基盤の強化		即効度	◎	難易度	B	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	-								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】													
目標達成の 取組内容 (計画)	・原価計算書の構築及び原価計算の実施 ・料金改正に伴う関係条例の一部改正				①	平成29年3月末までに							
					②	使用料・手数料の原価計算を行い、関係する条例の一部改正を実施する。							
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
原価計算の実施	計画		各課依頼	各課調整									
	実績			前回改正 内容の 把握	指針 見直し 検討	各課依頼	各課調整						
行革本部会・行革懇話会での報告	計画			本部会報告					懇話会報告				
	実績												
条例改正(改正が必要な場合)	計画				各課と調整						議会上程		
	実績												
公表	計画										公表		
	実績												
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	50		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	40		<ul style="list-style-type: none"> 課内で使用料・手数料の見直し方法について協議し、見直し指針を決定した。 各課に対し、使用料・手数料の原価計算の調査を実施した。 各課から提出された原価計算書について、取りまとめ資料を作成した。 										
算出根拠			実施スケジュールから実施時期と内容の変更はあったものの進捗率としては全体作業工程の40%程度と判断した。										
課題と今後の取組み													
<ul style="list-style-type: none"> 使用料・手数料について、適正な金額とするため、見直しについて、原価計算結果を踏まえ財政課と協議し関係部署に対してヒアリングを行う。 取りまとめた見直し結果について、行革本部会で協議・承認を得た後、行革懇話会で報告を行う。 料金改定されたものについて、3月議会にて使用料・手数料条例改正を行う。 													
④D = Do ■目標及びそのための取組													
※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
H28	目標	使用料等の適正な料金設定				H29	目標	使用料等の適正な料金設定【継続実施】					

実施メニュー	13	継続	実質公債費比率・将来負担比率の適正化				担当部署	財政課(企画財政部)					
分類	財政基盤の強化		即効度	◎	難易度	A	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	実質公債費比率12.6%(3ヶ年平均)/将来負担比率58.1%								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】													
目標達成の 取組内容 (計画)	・市債発行の抑制 ・市債以外の将来負担事業の精査による抑制			①	平成29年3月末までに								
				②	市債借入額を市債償還額(元金)を下回るように予算を調整する。(平成27年度からの繰越分を含まない。)								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成27年度決算資料作成 平成28年度健全化判断比率算出(平成27年度決算)	計画			決算	監査委員 説明	★ 速報	議会 報告		★ 確報				
	実績			決算	監査委員 説明	★ 速報	議会 報告						
平成28年度補正予算調整・議会上程	計画		予算調整	議会上程 ・議決		予算調整	議会上程 ・議決		予算調整	議会上程 ・議決		予算調整	議会上程 ・議決
	実績		予算調整	議会上程 ・議決		予算調整	議会上程 ・議決						
平成29年度健全化判断比率(見込)作成(平成28年度決算見込)	計画					見込み 作成							H29予算確定後 再算出
	実績												
	計画												
	実績												
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	50		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	50		27年度決算に係る資料及び健全化判断比率の算出については、予定どおり市監査委員及び市議会への報告を行った。 28年度の補正予算の調整及び議会への上程についても、予定どおり行っている。 28年度決算見込みに係る健全化判断比率については、今後の補正予算編成の状況を見ながら見込んでいく予定である。										
算出根拠	【9月末現在の予算状況】 ①償還元金 1,895,639千円 ②市債 1,800,800千円 ①-② +94,839千円(①>②)												
年度末までの実施スケジュールに対し、上半期の実績が計画どおり進んでいるため50%とした。													
課題と今後の取組み													
市債と元金償還額の差については、現在のところ元金償還額が上回っているが、差が1億円弱である。 元金償還額は今後もほとんど変わらない見込みであるが、市債については国の補正予算に伴う追加の事業実施が予定されており、今後増額し、元金償還額を上回る可能性がある。 国の補正予算の動向に注視しつつ、事業の選択と集中を行ない、市の健全な財政基盤が確立できるよう予算の調製を行っていく。													
④D = Do ■目標及びそのための取組 ※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
H28	目標	・実質公債費比率 12.0%(H26-28の3ヶ年平均) ・将来負担比率 54.0%(H28決算)				H29	目標	・実質公債費比率 11.5%(H27-29の3ヶ年平均) ・将来負担比率 47.5%(H29決算)					

実施メニュー	14	新規	公共施設等総合管理計画の推進				担当部署	財政課(企画財政部)					
分類	公有財産の最適管理		即効度	○	難易度	S	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)	-								
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の 取組内容 (計画)	公共施設等総合管理計画案の検討、修正			①	平成29年3月末までに								
				②	総務省から要請された「公共施設等総合管理計画」について計画案を策定し、パブリックコメントを実施する。								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
計画策定	計画		---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	実績		---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
市民説明	計画		広報案 作成	広報					広報	パブリック コメント			広報
	実績		広報案 作成	広報									
庁内検討委員会	計画		★		★			◎					
	実績												
議会説明	計画				説明						説明		
	実績												
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	50		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	20		<p>本計画は、平成26年4月に総務省から平成28年度末までの策定を要請されているものであり、その策定作業を進めるものです。</p> <p>計画の策定にあつては、市が所有する公共施設の総量を把握し、将来の改修・更新に係る費用を算出したうえで、今後の取り組みや・方針を計画するものです。</p> <p>上半期の作業は、広報特集ページを作成し、今後の公共施設のあり方について市民への情報発信を行い、現在素案を作成しているところです。</p>										
算出根拠			<p>素案の作成に時間を要しており、現段階で完成に至っていないため、進捗率としては全体作業工程の20%程度と判断した。</p>										
課題と今後の取組み													
早急に計画の素案を作成し、庁内検討委員会に送り、パブリックコメントを実施する。													
④D = Do ■目標及びそのための取組				※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照									
H28	目標	公共施設等総合管理計画の完成			H29	目標	分野ごとの取組計画(仮称)を作成						

実施メニュー	15	新規	公共施設の有効利用	担当部署	都市計画課(建設経済部)
--------	----	----	-----------	------	--------------

分類	公有財産の最適管理	即効度	○	難易度	A	達成状況	-
----	-----------	-----	---	-----	---	------	---

①C = Check ■現状の課題を把握	現状数値(計画策定時)	入居件数:210戸中184戸(空き26戸、入居率87.6%)
----------------------	-------------	--------------------------------

「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

②A = Action ■改善内容を立案 【①いつまでに②どうする】

目標達成の取組内容(計画)	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅入居者資格要件の緩和 抽選会(公募)回数増加(4回⇒5回) 掲載方法等の見直し(市内外へ向けて公募) 上本所団地入居機会拡充(随時公募・抽選会) 	①	平成29年3月末までに
		②	抽選会を4回から5回にし、入居の機会を増やすことや、空室が目立つ上本所団地については、公募を随時行う。また、広報菊川6月号で特集ページを設け入居促進を行う。

③P = Plan ■実施スケジュール

目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居抽選会 ※定期の抽選会を4回から5回に増加し入居機会の拡充を図る。	計画	抽選会			抽選会		抽選会		抽選会		抽選会		
	実績	抽選会			抽選会		抽選会						
市内周知(広報菊川) ※広報菊川に特集ページを設け、市営住宅のことや入居募集を図る。	計画			特集抽選会掲載		抽選会掲載		抽選会掲載		抽選会掲載			抽選会掲載
	実績			特集抽選会掲載									
市外周知(ホームページ) ※市ホームページのリニューアルを行い、市営住宅のことや入居募集を図る。	計画	掲載内容検討	掲載内容修正・掲載										→
	実績	掲載内容検討	→	掲載内容修正・掲載	→	→	掲載内容修正・掲載						
上本所団地の入居機会の拡充(空室対策) ※空室が目立つ上本所団地について、一定の空室(5件)までは随時抽選会(公募)を行い入居率の向上を図る。	計画	検討	- - ->	募集抽選会									→
	実績	検討	- - ->	募集抽選会									→

【進捗状況】 ■9月末時点

進捗率目標(%)	-	実施内容及び進捗状況
実績(%)	96	市営住宅の入居率が低迷するなか、周知を徹底することや、入居機会の拡充を図り予定している実施内容は概ねスケジュールどおりとなっている。 【周知】<新規>フェイスブック投稿 市ホームページ(リニューアル版については現在作成中) / 広報菊川6月号「市営住宅入居者募集」全戸配布 【募集及び抽選会】<新規>昨年度比+1回の抽選会及び上本所団地随時募集 ①抽選会 4月(3団地) ②抽選会 7月(2団地) ③抽選会 9月(2団地) ④抽選会 11月(2団地) ⑤抽選会 1月(2団地) / 随時 上本所団地のみ H28.6~ 【入居状況】※H28.9末現在 上本所団地 126戸 入居数100戸 空室数26戸 入居率79.37% 長池団地 52戸 入居数50戸 空室数2戸 入居率96.15% 赤土団地 32戸 入居数32戸 空室数0戸 入居率100% 全体 210戸 入居数182戸 空室数28戸 入居率86.67%
算出根拠		
入居率(H28.9.30現在) / H28 目標入居率 86.67% / 90.00% = 96.3%		

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
入居率	86.19%	85.24%	84.76%	84.76%	85.71%	86.67%
達成率	95.8%	94.71%	94.18%	94.18%	95.24%	96.30%

課題と今後の取組み

【課題】
 昨年度に比べ、入居率の向上のために、広報や入居条件の緩和、入居機会の拡充などを行っているが入居率の向上に結び付かない。
 市営住宅は、公営住宅法第1条に「住宅に困窮する低所得者」に対する住宅と記載されており、収入基準が公営住宅法で定められ、問い合わせがあっても、収入基準で入居できず、入居率の向上に結び付かない。
 また、住人が、一定の収入を得るようになり、収入基準を超え、戸建住宅を購入することが多く、退去者が増えていることも入居率が下がる要因となっている。
 その他、入居者や入居応募者が高齢化しているためエレベーターの無い住宅団地は人気がないことや、自治会活動に理解をされない人、子どもの学区変更をたくない人など、住宅に困窮する低所得者はいるが、入居環境により断念する人も入居率が下がる要因となっている。
 ただし、今年度から入居率が着しく低い上本所については、随時募集にしたため、抽選会以外の急な入居申し込みにも対応できるようになり、6月中旬の開始から3名ほどの入居申し込みがあった。
 また、今年度より市内在住等の入居要件を撤廃したため市外からの入居者が増えている。このことは、プラス要因として捉えている。

【今後の取組み】
 市営住宅の入居率向上に向け次のことを重点に進めて行く。
 ・上本所団地の随時入居募集の継続
 ・雇用促進の廃止や譲渡に伴う市営住宅への誘導周知(チラシ配布)
 ・グループホーム等の多目的な活用方法の検討
 ・エレベーター等の環境整備の検討
 ・周知(PR)方法の検討

④D = Do ■目標及びそのための取組 ※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照

H28	目標	平成29年3月末現在 入居率 90%以上	H29	目標	平成30年3月末現在 入居率 92%以上
-----	----	----------------------	-----	----	----------------------

実施メニュー	16	新規	遊休市有地の有効利用				担当部署	財政課(企画財政部)					
分類	公有財産の最適管理		即効度	◎	難易度	B	達成状況	-					
①C = Check ■現状の課題を把握				現状数値 (計画策定時)		-							
「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照													
②A = Action ■改善内容を立案				【①いつまでに②どうする】									
目標達成の 取組内容 (計画)	不動産業者への委託により処分を進める			①	平成28年9月末までに								
				②	一般競争入札公告及び入札を実施し、売れ残りがあれば、先着受け付け方式により予定価格での売却を行う。								
③P = Plan ■実施スケジュール													
目的達成のための具体的な方法	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売却方針案の作成	計画			---	---	◎							
	実績						--	---					
一般競争入札実施	計画					公告	★						
	実績					広告文書 確認	入札時期 予定価格 検討						
先着受け付け開始	計画							----->					
	実績												
	計画												
	実績												
【進捗状況】 ■9月末時点													
進捗率目標(%)	70		実施内容及び進捗状況										
実績(%)	30		今年度は、かねてより懸案である、柳地区3区画の宅地売却を行う予定である。 入札広告文書の確認作業が終了しており、現在、入札時期や予定価格を検討している。 本土地については、平成25年度に不動産鑑定評価を行っており、市場性のある価格が 示されてはいるが、過去2回の公募入札において、参加希望者がなく不調に終わって いる。										
算出根拠		実施スケジュールから実施時期を変更しており、現時点で入札公告まで至っていないため、進捗率としては全体作業工程の30%程度と判断した。											
課題と今後の取組み													
課題:売却単価の設定 今年度公募するにあつては、予定価格の設定をどうするかを再度検討する必要がある。 11月に開催される県内の管財担当者の連絡会議において、不調となった土地の取り扱いについて議題としてあげられているため、他市の状況を参考とし、本年度の売却手続きを進めていく。 本年度中に公告を行い、入札を実施し落札者がなければ、先着受け付け方式により売却をすすめる。													
④D = Do ■目標及びそのための取組				※H28の取組については上記「②A=Action」欄参照 ※H29の取組については「菊川市CAPDo!『菊川市新行財政改革推進方針』実施計画」参照									
H28	目標	柳町住宅用地の利用方法を決定				H29	目標	旧消防署跡地の利用方法を決定					